

===各常任委員長に聞く===

12月11日(日) 18:45~19:00 BBC

で放映されます。教育厚生常任委員長として、私岸本のり子が出演します。ぜひご覧ください。

「各派代表に聞く」で、日本共産党市議団の代表でインタビューに応えたのに引き続き、教育厚生常任委員長として、収録に望みました。

今年度、委員会で調査してきた、「スポーツ振興計画について」「岩手県石巻市での救援活動について」、また「富山市での視察で学んだこと」など、インタビューに応えました。

富山市は、脳卒中患者を対象に、病院～在宅・介護まで、診療計画を作成することで、患者さんが安心して医療が受けられる「連携パス」に取り組む先進的な自治体ですが、その連携ができた要因に富山市保健所の役割があったそうです。

大津市でも一部、「連携パス」に取り組んでいますが、さらに拡充させるためにも、行政機関である、保健所と市民病院、地域包括センターの積極的な役割が必要と感じました。

- ☆ 岸本市議の一般質問(予定)
- ☆ 自然エネルギーへの転換
- ☆ TPPと農業
- ☆ 豊島(へてしま)の汚染土壌の処理に関して
- ☆ 通学費補助

11月議会が始まります

11月29日開会

12月6日~9日一般質問

12、13日 常任委員会

14日 特別委員会

16日 閉会

市長選挙直前の議会です。ぜひ傍聴してください。

インターネットでもご覧になれます。

ひがし まさ 東 昌子さんと いのち・暮らしを守る市政を



医師として、みずから被災地に赴き、
目の当たりにしたその惨状と政治の貧困さ」

「いのちとくらしを守る大津市政の会」は11月18日、2012年1月22日に行われる大津市長選挙に、膳所診療所所長の東昌子医師を擁立することを発表しました。

東昌子さんは医師として、地域医療の第一線の診療所で19年間、小児から高齢者までの外来診察や、地域に出向き、在宅医療に尽力されてきました。また、「お金がないから受けられない」とあきらめる患者さんに、「あきらめない医療や看護・介護」を現場から発信し、社会保障拡充の運動をみなさんと前進させてこられました。

東昌子さんが市長選挙を決意されたのは、3・11の震災で、医師として現地に入り、その惨状と国や県の対応の遅れを感じ、地域住民を守る最前線にたつのは身近な市町村行政だと実感されたからです。

「大津市政の根本に生命行政をすえる」まさに東昌子さんは大津市長としてふさわしい人ではないでしょうか。

「会」のみなさんとともに私も全力でがんばります。
みなさん「一緒に、いのち・暮らしを守る市政をつくりましょ」

大津市議会議員

岸本のり子

東 昌子さん(48歳)の略歴

1981年3月 滋賀県立膳所高等学校卒
1987年3月 滋賀医科大学医学部卒
1987年4月 医師国家試験合格

京都民医連中央病院・上京病院勤務を経て膳所診療所に勤務
現在
○膳所診療所所長
○医療法人滋賀勤労者保健会副理事長

こんにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党

大津湖西地区委員会

連絡先 日本共産党大津市会議員

岸本のり子

大津市和邇春日2丁目

ケイタイ 080031163877

2011.11/27 No. 111

日本共産党